

日本宗教学会
第74回学術大会
2015年9月4日～6日



創価大学
中央教育棟

創立者の指針

ブロンズ像(左):天使と印刷工
英知を磨くは何のため 君よ それを忘るるな

ブロンズ像(右):天使と鍛冶屋
労苦と使命の中にのみ 人生の価値(たから)は生まれる

中央:創価大学のエンブレム
本学のエンブレムは、中央にペン、両側に鳳凰の翼をデザインしています。
ペンは英知を表し、鳳凰の翼は世界への雄飛を意味しています。

日本宗教学会第74回学術大会プログラム 目 次

「お知らせ」と「お願い」	2
大会日程	3
開催校からのお知らせ	4
パソコン用プロジェクターの使用に関するご注意	5
公開シンポジウム「宗教の未来 宗教学の未来」	6
登壇者紹介	7
個人・パネル発表(第1部会～第14部会)	8
レジュメの作成と提出の注意	22
紙原稿用レジュメ表紙	23
創価大学へのアクセスについて	25
バス時刻表	27
キャンパスマップ	29
キャンパス略図	30
中央教育棟教室配置図	31
連絡先一覧	

「お知らせ」と「お願い」

1. 受付手続きの際、必ず名札をお受け取り下さい。名札は、常に身に付け、お帰りの際にはご返却下さい。
2. 受付には、学会本部が出張しております。学会費未納の方はお納め下さい。
3. **発表題目、パネル構成員の変更は一切認められません。**プログラムと同一にして下さい。
4. **発表時間は以下のように構成されます。時間厳守でお願いします。**
 - ・個人発表 発表 15 分、質問 5 分、計 20 分（初鈴 13 分、二鈴 15 分、三鈴 20 分）
 - ・パネル発表 「発表者数×5 分」をフロアからの質問時間として確保下さい。
それ以外の時間配分は、パネル運営者にお任せします。
5. 発表者は、発表の 2 番前に、発表会場の「発表者待機席」においで下さい。
6. 発表時に配布する資料は、余裕をもってご用意の上、会場の係にお渡し下さい。
7. **申し込み時に、パソコン用プロジェクターの使用を申請された方は、5 頁の注意事項を参照してください。特に、パソコンを持参されない方は、データの入った USB メモリーを事前にウィルスチェックの上、午前・後の部会開始 15 分前に各会場にお持ちください。**
8. 発表会場間の移動、およびプロジェクターの設置に時間が必要なことを加味して、個人発表終了後に 5 分間の休憩時間を設けています。この 5 分間を議論の延長などに使うことのないようお願いいたします。
9. 万が一、発表の取り消しがあった場合でも、その後の発表を詰めて行うことなく、予定時間通りに発表して頂きます。
10. **個人発表のレジュメ（表紙・本文）の紙原稿・電子データについて**
22 頁「レジュメ作成と提出の注意」に従って作成した紙原稿を、9 月 6 日**昼 12 時 30 分**までに、部会責任者に提出して下さい。電子データは、同頁②「電子データの提出方法」に従って、ご送信下さい。
11. **パネル発表のレジュメ（表紙・本文）の紙原稿・電子データについて**
22 頁「レジュメ作成と提出の注意」に従って作成した紙原稿を、代表者がとりまとめて、9 月 6 日**昼 12 時 30 分**までに、部会責任者に提出して下さい。
電子データも、代表者が全員分をとりまとめて、9 月 11 日までに、学会事務局に送信して下さい。
代表者は、「パネルの主旨とまとめ」と「パネルの欧文タイトル」、コメントータの「コメント」を、9 月 18 日までに、学会事務局にご送信下さい。
12. 日本語が母語でない方へ **レジュメは、必ず、日本語の精査を受けた上で、ご提出下さい。**

受付	4・5・6 日	中央教育棟 1 階 エントランスホール
会員休憩室	5・6 日	AE 454
クローク	5・6 日	AW301
学会本部	4・5・6 日	AW303
大会実行委員会本部	4・5・6 日	AW303

大会日程

9月4日(金)

学会賞選考委員会	AW506	12:30 ~ 13:30
情報化委員会	AW505	13:00 ~ 14:00
庶務委員会	AW504	13:00 ~ 14:30
国際委員会	AW503	13:00 ~ 14:00
開会式	ディスカバリーホール (AB101)	14:30 ~ 14:40
公開シンポジウム	ディスカバリーホール (AB101)	14:40 ~ 17:45
テーマ「宗教の未来 宗教学の未来」		
講演者	ホセ・カサノヴァ (米ジョージタウン大学) ジェイムズ・ベックフォード (英ウォーリック大学)	
コメンテーター	伊達 聖伸 (上智大学) 櫻井 義秀 (北海道大学)	
趣旨説明	中野 毅 (創価大学)	
司 会	平良 直 (八洲学園大学)	
理事会	AE352	18:00 ~ 20:30

9月5日(土)

研究発表(個人、パネル)	中央教育棟各会場 (3~5階)	9:00 ~ 12:40
評議員会	AW302	12:40 ~ 14:00
研究発表(個人、パネル)	中央教育棟各会場 (3~5階)	14:00 ~ 16:00
会員総会	AW302	16:20 ~ 17:40
懇親会	ニュープリンスホール	18:00 ~ 20:00

9月6日(日)

研究発表(個人、パネル)	中央教育棟各会場 (3~5階)	9:00 ~ 12:15
編集委員会	AW506	12:15 ~ 13:00
プログラム委員会	AW505	12:15 ~ 13:00
研究発表(個人、パネル)	中央教育棟各会場 (3~5階)	13:15 ~ 15:40

開催校からのお知らせ

日本宗教学会会員の皆さま、本年度の学術大会へご参加いただくにあたり、開催校としてお知らせしておきたいことがございます。ぜひご一読くださいますようお願い申し上げます。

- 1) 第74回学術大会における、すべてのプログラムは中央教育棟（グローバルスクエア）において実施されます（懇親会をのぞく）。**2日目（9月5日）、3日目（9月6日）は、日本アディクション看護学会の学術大会と重なる**ため、少し混雑があるかもしれませんが、あらかじめご了承ください。
- 2) 今回のプログラムでは発表者の希望、キーワードを考慮して部会を作成しましたが、人数の関係で必ずしも希望の部会に割り当てられていない場合があります。また各部会のパネルは個人発表とは異なった研究分野もありますので、ご注意ください。
- 3) 非会員の方も個人発表、パネル発表を聴講できます（質問等はできません）。ご希望の方は受付にて登録し、参加費（1日1000円）をお支払いください。なお学部生・大学院生は無料です。
また9月5日（土）午後のパネル「<考える「倫理」>の授業における宗教学の役割」（日本学術会議後援、日本宗教研究諸学会連合・日本哲学系諸学会連合共催合同企画）は無料です。このパネルのみを聴講希望の方は、受付にてその旨お申し出ください。
- 4) 会場には、大会参加者用の駐車場はございませんので、自家用車での来場はご遠慮願います。なお、会場へのアクセスについては25頁の通りですので、ご参照ください。
- 5) 大学周辺には食事のできる場所がございません。昼食等は、30頁のキャンパス略図をご覧ください。
- 6) 自由に使用できるコピー機は設置しておりませんので、配布資料などは予めご用意ください。
- 7) クロークでは、貴重品・衣服については預かりかねますので、ご容赦ください。
- 8) 台風などにより開催状況に変更が生じた場合は、大会ホームページを通じてお知らせします。
- 9) 大会直前、および期間中に緊急に連絡する必要がある場合の連絡先は、大会ホームページでご確認ください（期間限定の電話番号を用意する予定です）。
- 10) 会場となる中央教育棟では基本的に学内Wi-Fiは使用できませんので、ご了承ください。
- 11) 受付にて、創価大学に隣接する東京富士美術館の入場引換券をお渡しいたしますのでご利用ください。
また、書籍コーナー（中央教育棟1階エントランスホール）にて、東洋哲学研究所主催の「法華経写本展」のブース展示を設置いたしますので、ご見学ください。
- 12) 本大会会場には託児所はございません。近隣の託児所については末尾の連絡先一覧をご覧ください。
ご利用には事前の予約が必要です。
- 13) 9月4日のシンポジウム終了時（17:45～18:30）、5日の懇親会終了時（20:00～20:45）、6日の大会終了時（15:00～16:00）には、栄光門（4日）、正門（5日・6日）からJR八王子駅・京王八王子駅行きのバスが増発されますのでご利用ください。
- 14) シンポジウム会場であるディスカバリーホール（AB101教室）は飲食が禁止となっております。また、**キャンパス内は全面禁煙です**。ご協力をお願いいたします。

パソコン用プロジェクターの使用に関するご注意

第74回学術大会での発表において、パソコン用プロジェクターの使用を希望される方は、以下の注意をご熟読ください。

発表申込の際に機材の使用申込が行われない場合、また発表申込後に変更がある場合、対応はいたしかねます。

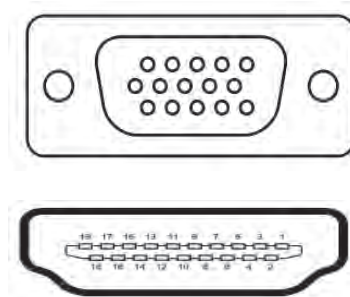
また、機器の動作について完全な動作保証は難しいため、ご心配な方は事前に大会実行委員会にご相談ください。

① パソコンをご持参する場合

各部会会場で使用するパソコン用プロジェクターは、VGA (D-Sub15ピンのアナログ接続) (右上図)、HDMI (タイプA、右下図) にのみ対応しています。DVI、USBなどの接続方式には対応していません。

パソコンによっては (Macintosh 等)、直接接続できない場合がありますので、VGA 変換アダプターをご持参ください。

また、ご持参のパソコンが接続できないトラブルも起こりえますので、USB メモリー等にプレゼンテーション資料を保存してお持ちください。



② パソコンをご持参しない場合

USB メモリーでプレゼンテーション資料を、**午前の部、午後の部それぞれの開始 15 分前に各会場にお持ちください。**

その他の記録メディアをお使いになる場合は、USB 接続に変換する機器を各自ご持参ください。

事前にお持ちになる記録メディアのウイルスチェックを必ず行ってください。

会場に用意されるパソコンの OS は、Windows 7 (日本語版) で、プレゼンテーション・ソフトは PowerPoint 2013 です。音声の出力も可能です。

他の OS (Macintosh, UNIX 等) や他のソフトウェア (Keynote, OpenOffice.org 等)、特殊フォントには対応しておりませんので、ご注意願います。

また、あまり高性能なパソコンは用意できませんので、その旨ご了解ください。

公開シンポジウム

宗教の未来 宗教学の未来

日本宗教学会第74回学術大会実行委員会主催
「連合国のアジア戦後処理と宗教」研究会（科研基盤研究（B）
代表者：中野毅、課題番号：26284012）後援
創価大学社会学会 後援

日時 2015年9月4日（金）14:40-17:45
場所 創価大学 ディスカバリーホール（AB101）
司会 平良 直（八洲学園大学 准教授）

21世紀に入り、それまで合理化やグローバル化が進展し、ますます世俗化していくと考えられてきた現代世界は、大きな変動に見舞われています。宗教は単に個人の内面の問題ではなく、人々の社会生活、公共生活における重要な役割を担っていることが、災害時における宗教の貢献、政治や教育における宗教的要素の重要性の見直し、宗教と結びついたナショナリズムの台頭、さらにイスラム世界のグローバルな舞台への登場などを通して顕著になってきました。宗教が公的領域または公共圏で果たす役割、存在意義の再検討が必要となってきてきたのです。

そうした動向を背景に、宗教研究においては脱世俗化論やポスト世俗主義、脱個人化などの論議が行われています。さらに進化心理学等の自然科学による人間の文化・宗教活動の解明も急速に進展しています。

宗教が大きく変容していく過程の先には、どのような未来が待っているのか、その変化に宗教研究は如何に対応すべきなのか、欧米の研究者2名の基調講演をもとに議論し、再考察していきます。

14:40-15:00

趣旨説明 中野 毅（創価大学 教授）

15:00-15:45

講演1 ホセ・カサノヴァ（米 ジョージタウン大学 教授）

“The Intertwined Roads of Global Secularization and Global Religious Denominationalism”

「グローバルな世俗化とグローバルな宗教諸派の共生、絡み合う二つの道」

15:45-16:30

講演2 ジェイムズ・ベックフォード（英 ウォーリック大学 名誉教授）

“Sociological perspectives on religion and Religious Studies in the age of globalisation”

「グローバル化時代における宗教と宗教研究の社会的パースペクティブ」

16:30-16:45 休憩

16:45-17:15 コメント1 伊達 聖伸（上智大学 准教授）

コメント2 櫻井 義秀（北海道大学 教授）

17:15-17:45 パネル・ディスカッション

登壇者紹介

ホセ・カサノヴァ (José V. Casanova)

1951年生。Ph. D. ジョージタウン大学(米国)社会学部教授、バークレー「宗教・平和・世界情勢」研究センター上級研究員。専門:宗教社会学(公共宗教論、世俗化論研究等)。主要編著書:『近代世界の公共宗教』(1997年、原著1994年)、*Democracy and the New Religious Pluralism* (共著、2007年)、*Religion: Beyond the Concept* (共著、2008年)、他多数。

ジェイムズ・ベックフォード (James A. Beckford)

1942年生。Ph. D. ウォーリック大学(英国)名誉教授、ブリティッシュ・アカデミー・フェロー。元国際宗教社会学会会長(1999年～2003年)。専門:宗教社会学(宗教社会学理論、新宗教、教会と国家、市民宗教研究等)。主要編著書: *Social Theory and Religion* (2003年)、*Muslims in Prison: Challenge and Change in Britain and France* (2005年)、*Theorising Religion: Classical and Contemporary Debates* (2006年)、*The SAGE Handbook of the Sociology of Religion* (2007年)、他多数。

伊達 聖伸(だて きよのぶ)

1975年生。博士(宗教学)。上智大学外国語学部准教授。専門:宗教学(ライシテ、政教分離研究等)。主要編著書:『ライシテ、道徳、宗教学—もうひとつの19世紀フランス宗教史』(2010年)、『北米研究入門—「ナショナル」を問いなおす』(共著、2015年)等他多数。

櫻井 義秀(さくらい よしひで)

1961年生。博士(文学)。北海道大学大学院文学研究科教授。元「宗教と社会」学会会長(2009年～2011年)。専門:宗教社会学(タイ研究、カルト研究、東アジアの比較宗教文化研究等)。主要編著書:『タイ上座仏教と社会包摂—ソーシャル・キャピタルとしての宗教』(2013年)、『カルト問題と公共性—裁判・メディア・宗教研究はどう論じたか』(2014年)等他多数。

中野 毅(なかの つよし)

1947年生。博士(文学)。創価大学文学部教授。専門:宗教学、宗教社会学(新宗教、宗教と政治、ナショナリズム、占領宗教政策研究等)。主要編著書:『宗教とナショナリズム』(1997年)、『宗教の復権—グローバルゼーション・カルト論争・ナショナリズム』(2002年)、『戦後日本の宗教と政治』(2003年)等他多数。

第1部会

AW404

宗教学・宗教史学・宗教哲学

9月5日(土)

午前

1	9:00-9:20	「宗教」概念なしの宗教現象—「宗教」の対象とは何か—	高山 善光	広島大
2	9:25-9:45	ルーマニア期エリアーデにおける「精神の革命」	大谷 崇	早大
3	9:50-10:10	エルンスト・トレルチにおける「歴史化」概念の再帰構造について	塩濱 健児	北海学園大
4	10:15-10:35	オランダにおけるクリアヌの宗教研究	奥山 史亮	日本学術振興会
5	10:40-11:00	ヴェルヘルム期ドイツの民族主義的宗教観における「科学」と信仰	齋藤 正樹	早大
6	11:05-11:25	宗教をめぐる明治の論争における綱島梁川の位置	古荘 匡義	大谷大
7	11:30-11:50	ミュラー宗教学の哲学的背景	後藤 正英	佐賀大
8	11:55-12:15	ジェイムズにおけるダーウィン主義と宗教	林 研	大阪保健医療大
9	12:20-12:40	井筒俊彦のオットー理解とその特徴	澤井 義次	天理大

午後

パネル	〈考える「倫理」〉の授業における宗教学の役割	代表者：藤原 聖子
14:00-16:00	サンデルが宗教の授業をするとうどうなるか—英国宗教科の新展開—	藤原 聖子 東大
	デンマークの宗教教育における仏教とイスラームの表象	ヨーン・ボルブ オーフス大
	私たちは誰を愛するのか—生命倫理におけるキリスト教的視点—	土井 健司 関西学院大
		コメンテータ：林田 康順 大正大
		コメンテータ：小田 淑子 関西大
		司会：藤原 聖子 東大

※ 日本学術会議後援、日本宗教研究諸学会連合・日本哲学系諸学会連合共催による、日本哲学会・日本倫理学会との合同企画

9月6日(日)

午前

1	9:00-9:20	世紀転換期ドイツにおける宗教と政治—オットーとF.ナウマン—	藁科 智恵	東京外国語大
2	9:25-9:45	機械は魂を持ち得るか—からくり人形に見る擬人化のかたち—	永原 順子	高知高専
3	9:50-10:10	ロベール・プレッソン『少女ムッシュ』における唾棄すべきもの	斎藤 喬	南山宗教文化研究所
4	10:15-10:35	映画の宗教学—映画体験からみる《世俗》の成り立ち—	近藤 光博	日本女子大
5	10:40-11:00	イメージと儀礼	細田あや子	新潟大
6	11:05-11:25	宗教研究における「自・他」の問題—R.オルシを読む—	東馬場郁生	天理大
7	11:30-11:50	カマラ大司教の暴力論に関する再評価の試み	新免 貢	宮城学院女子大
8	11:55-12:15	ファンズム期は古代宗教史研究をどのように変えたか	松村 一男	和光大

午後

1	13:15-13:35	認知科学・進化生物学が宗教研究に提起する論点の分析	藤井 修平	東大
2	13:40-14:00	フィクションから生まれた宗教、無神論、科学—分析哲学から—	谷内 悠	東大
3	14:05-14:25	宗教的「信念」の位相—ネオ・プラグマティズムの視角から—	飯田 篤司	鎌倉女子大
4	14:30-14:50	生命倫理の議論における公共的理性と非制度的宗教性	藤枝 真	大谷大
5	14:55-15:15	呪術と日常	関 一敏	九大
6	15:20-15:40	宗教のグローバル化現象に対するニッチ概念の適用	井上 順孝	國學院大

9月5日(土)

午前

1	9:00-9:20	H.G.ガダマーと宗教の接点—伝記的事実を中心に—	岡田 勇督	京大
2	9:25-9:45	カント目的論的判断力と道徳的目的論—道徳神学への道程—	山形 泰之	日大
3	9:50-10:10	J.ヒックの宗教多元主義再考	長谷川(間瀬)恵美	桜美林大

パネル 近代日本における公共宗教と宗教の公的役割

代表者：星野 靖二

10:15-12:15 広義の公共宗教の理解のために—とくに「深層文化」との関連で—

津城 寛文 筑波大

宗教の「公」への関わり—近代日本における回路の歴史的検討—

星野 靖二 國學院大

宗教の社会貢献を問い直す—ホームレス支援の現場から—

白波瀬達也 関西学院大

近現代日本における公共宗教と宗教教団の社会的役割

島藪 進 上智大

コメンテータ：ホセ・カサノヴァ ジョージタウン大

司会：星野 靖二 國學院大

※ 開催校特別企画 英語パネル

午後

パネル 近代アジアの世俗主義と国家—ポスト世俗化論に向けて—

代表者：山中 弘

14:00-16:00 日本の宗教社会学における世俗化論

山中 弘 筑波大

世俗化ではなくライゼンション—近代日本の信教の自由—

林 淳 愛知学院大

タイのモダニティと仏教の役割

櫻井 義秀 北大

近現代インドにみる「世俗国家」の姿—仏教改宗運動の事例から—

舟橋 健太 龍大

コメンテータ：ジェイムズ・ベックフォード ウォーリック大

司会：山中 弘 筑波大

※ 開催校特別企画 英語パネル

9月6日(日)

午前

1	9:00-9:20	トマス・ジェファソンと米国宗教法制	庄司 一平	東北大
2	9:25-9:45	P.ティルッヒにおける「受容」について—神学と心理学の境界—	今野 啓介	東大
3	9:50-10:10	初期ティルッヒと初期プロッホのシェリング受容	宮崎 直美	一橋大
4	10:15-10:35	チャールズ・テイラーと公共宗教論の周辺	坪光 生雄	一橋大
5	10:40-11:00	価値判断をめぐる有神論と無神論—Ch.テイラーを中心に—	鬼頭 葉子	長野高専
6	11:05-11:25	現代紛争解決論における宗教の役割に関する考察	田辺寿一郎	熊本大
7	11:30-11:50	社会主義とキリスト教—カール・バルトの場合—	福嶋 揚	青山学院大
8	11:55-12:15	バルト神名論と親鸞本願名号論—〈根元語・世界〉の差異?—	高田 信良	龍大

午後

1	13:15-13:35	塚本虎二におけるキルケゴールの理解	渡部 和隆	京大
2	13:40-14:00	キルケゴール研究における方法論についての予備的考察	谷塚 巖	京大
3	14:05-14:25	キルケゴールにおける予感と気分の構造について	後藤 英樹	東洋大
4	14:30-14:50	日記を資料としたキルケゴール研究とその展望	鈴木 祐丞	秋田県立大
5	14:55-15:15	キルケゴールとキリスト教正教—霊性をめぐって—	中里 巧	東洋大

第3部会

AW402

宗教学・宗教史学・宗教哲学

9月5日(土)

午前

1	9:25-9:45	マルブランシュにおける「在りて在るもの」	大野 岳史	東洋大
2	9:50-10:10	神秘家の「願いdésir」—ミシェル・ド・セルトーに寄せて—	渡辺 優	天理大
3	10:15-10:35	ハイデッガー「黒ノート」における神について	田鍋 良臣	大谷大
4	10:40-11:00	「美的状態」を通しての社会変革—シラーの批判理論—	田口 博子	工学院大
5	11:05-11:25	シェリングとヘーゲルにおける自然的宗教について	諸岡道比古	弘前大
6	11:30-11:50	ニーチェの救済論—so wollte ich es!—	中路 正恒	京都造形芸大
7	11:55-12:15	エックハルトにおける人間知性の様態について	西村 雄太	早大
8	12:20-12:40	エックハルトの人間本性理解—インマヌエルという観点から—	田島 照久	早大

午後

1	14:00-14:20	ライムンドゥス・ルルスの宗教思想	小藤 朋保	東大
2	14:25-14:45	ニュッサのグレゴリオスにおける徳について	武富 香織	慶大
3	14:50-15:10	ポルピュリオス『ニウンペーの洞窟』における寓意的解釈の手法	小野 隆一	筑波大
4	15:15-15:35	アウグスティヌス『未完のユリアヌス駁論』における自由意志	平野和歌子	京大
5	15:40-16:00	「十字の切り方」—その初期歴史と象徴的意義をめぐって—	リアナ・トルファシュ	南山大

9月6日(日)

午前

1	9:25-9:45	苦しむことと被ること—不幸をめぐる宗教哲学的考察—	佐藤 啓介	南山大
2	9:50-10:10	西谷啓治における悪の問題について	長岡 徹郎	京大
3	10:15-10:35	妙好人とは誰のことか—仰誓と鈴木大拙の視点から—	谷口 愛沙	大谷大
4	10:40-11:00	西田幾多郎と『教行信証』	名和 達宣	親鸞仏教センター
5	11:05-11:25	田邊哲学における感謝	浅野 章	
6	11:30-11:50	悟りと大拙の「即非の論理」	岡 廣二	
7	11:55-12:15	鈴木大拙の「日本的靈性」の現代的意味	和田 真二	帝塚山学院大

午後

パネル	戦場のウイトゲンシュタイン—神への祈り—	代表者：松野 智章	
13:15-15:15	第一次世界大戦における東部戦線—ブルシーロフ攻勢を中心に—	石神 郁馬	
	ウイトゲンシュタインの『秘密の日記』—テキストとその内容—	丸山 空大	東京工大
	意味との合一、問いの消滅—『要約福音書』が語りかけたこと—	冲永 宜司	帝京大
	「宗教者ウイトゲンシュタイン」の原点としての『秘密の日記』	星川 啓慈	大正大
		司会：松野 智章	東洋大

9月5日(土)

午前

1	9:25-9:45	過疎地域における氏神信仰の実態とその継承—高知県下の一事例—	冬月 律	モラロジー研究所
2	9:50-10:10	「風立寺」におけるポックリ信仰の受容	陳 甜	東北大
3	10:15-10:35	現代における人生儀礼の捉え方と日本人の宗教性	田口 祐子	國學院大
4	10:40-11:00	沖縄の村獅子の配置について	鈴木 一馨	中村元東方研究所
5	11:05-11:25	祭りにおける共同飲食に関する一考察	吉野 亨	國學院大
6	11:30-11:50	近代における伊勢信仰の変化—九州北部の参宮記念物を通して—	八幡 崇経	
7	11:55-12:15	新潟市の女性シャーマンとその依頼者について	佐藤 憲昭	駒大

午後

パネル	観る・坐る・祈る—「身体」をめぐる思想と宗教文化—	代表者：何 燕生
14:00-16:00	道家・道教の身体論—「坐忘」について—	呉 根友 武漢大
	身体感覚を超えて—老子の「恍惚」という思想—	秦 平 武漢大
	国民文化と坐—岡田式静坐法にみる「自己」のありかた—	栗田 英彦 日本学術振興会
	現代中国における「少林寺」現象—禅の脱文脈化をめぐる—	何 燕生 郡山女子大
	カリック信仰と伝統武術—インドネシア、THS/Mの事例から—	木村 敏明 東北大
		司会：木村 敏明 東北大

9月6日(日)

午前

1	9:00-9:20	ヒトiPS細胞研究における倫理的問題—宗教学的な視座から—	澤井 努	京大
2	9:25-9:45	ヒト組織移植からみる身体と生命	金 律里	東大
3	9:50-10:10	開会における意識展開について	太田 俊明	
4	10:15-10:35	理神論と進化論との間に調和の余地は存在するのか？	十津 守宏	大橋学園
5	10:40-11:00	宗教観が青年期適応に及ぼす影響	山崎 洋史	國學院大
6	11:05-11:25	死のヴィジョンと宗教性—認知症高齢者の世界と死の受容—	大村 哲夫	東北大
7	11:30-11:50	霊的医療における瞑想と信仰—統合医療の観点から—	半田 栄一	中央大
8	11:55-12:15	家族関係の色イメージ(調査結果から)—兄弟姉妹について—	久保田 力	東北芸術工科大

午後

パネル	宗教・ヒューマニズム・医療—臨床と教育における架橋—	代表者：安藤 泰至
13:15-15:15	医学教育と人文学教育—医学者・秋元寿恵夫の生涯を手がかりに—	安藤 泰至 鳥取大
	医学教育における宗教の立ち位置—科学論と人間観の視点から—	杉岡 良彦 旭川医科大
	医療における宗教専門職の考え方—キリスト教チャプレンの視点—	柴田 実 聖路加国際病院
	医療現場で「その人らしく」を支えるケア—仏教の立場から—	大河内大博 上智大
		コメンテータ：加藤 眞三 慶大
		司会：安藤 泰至 鳥取大

第5部会

AE452

宗教哲学・ユダヤ教・キリスト教

9月5日(土)

午前

1	9:00-9:20	R.ニーバーと内村鑑三—アモス書解釈とその応用をめぐる—	柴田真希都	日本学術振興会
2	9:25-9:45	西欧「宗教的世俗生活」の発展—ウェスレー運動と近世の兄弟会—	清水 俊毅	東大
3	9:50-10:10	金子白夢牧師の禅思想	菅原 研州	愛知学院大
4	10:15-10:35	住谷天来と秩父のキリスト者—その交流が問いかける世界—	村松 晋	聖学院大
5	10:40-11:00	明治初期におけるキリストの信仰認識と宣教師の布教	内藤 幹生	千葉県文書館
6	11:05-11:25	ドイツ宗教間対話におけるユダヤ人の位置づけ—ベルリンの事例—	堀 彩子	一橋大
7	11:30-11:50	東西霊性交渉における欧州側の意向	峯岸 正典	
8	11:55-12:15	21世紀に開かれた教会—教皇フランシスコの挑戦—	高橋 勝幸	南山宗教文化研究所
9	12:20-12:40	コモンズとしての宗教文化(共有宗教文化)と宗教間対話	濱田 陽	帝京大

午後

1	14:00-14:20	モーセ像から見る古代ユダヤ教とシリア・キリスト教	大澤 耕史	日本学術振興会
2	14:25-14:45	ノアとアブラハムの属性—義人、全き人、神と共に／前を歩む人—	堀川 敏寛	ハイデルベルク大
3	14:50-15:10	ゲーテの生命論的宗教観	エヴェリン・ツグラッゲン	創価大
4	15:15-15:35	シュヴァイツァー思想における生命観と人間観の諸問題	岩井謙太郎	京大
5	15:40-16:00	ユングにおける神	宮下 聡子	お茶の水女子大

9月6日(日)

午前

1	9:00-9:20	族長物語における創世記22章の位置と機能	岩寄 大悟	関西学院大
2	9:25-9:45	近代東欧の「ユダヤ教改革者」・イスラエル・サランター	青木 良華	東大
3	9:50-10:10	エレミヤ書における悔いの問題	田島 卓	東大
4	10:15-10:35	ナフマニデスの聖書解釈におけるキリスト教	志田 雅宏	
5	10:40-11:00	ドイツにおけるユダヤ教研究と制度	佐藤 貴史	北海学園大
6	11:05-11:25	ユダヤ教改宗者の出自を巡る「父祖」アブラハムの言説	櫻井 丈	大妻女子大
7	11:30-11:50	『エサルハドン王位継承誓約文書』にみる「普遍的」倫理と呪詛	渡辺 和子	東洋英和女学院大
8	11:55-12:15	一神教の歴史におけるユダヤ啓示法成立の意義	市川 裕	東大

午後

1	13:15-13:35	人が魔女になる?—『魔女への鉄槌』にみる「契約」—	田島 篤史	関西大
2	13:40-14:00	主の祈りの“epiūsios”にたいするグルジェフの解釈	宇野 功一	
3	14:05-14:25	エディット・シュタインの『十字架の学問』への道	釘宮 明美	白百合女子大
4	14:30-14:50	古代末期の宗教史叙述における「背教者」と災厄のイメージ	中西 恭子	東大
5	14:55-15:15	『ヨハネ福音書』の「イエスの愛しておられた弟子」とは誰か	松岡由香子	花園大

9月5日(土)

午前

1	9:00-9:20	シーア派聖典『雄弁の道』にみる倫理—アリーの2通の書簡より—	佐野 東生	龍大
2	9:25-9:45	預言者の時代のイスラーム宣教—慈悲と慈愛の構造分析を通じて—	四戸 潤弥	同志社大
3	9:50-10:10	セコビアのファンとイスラーム	矢内 義顕	早大
4	10:15-10:35	イスラーム思想史におけるアーザル・カイヴァーン学派	青木 健	慶大
5	10:40-11:00	ヒッタイトの肝臓占い文書について—神の命か? 神への儀礼か?—	山本 孟	京大
6	11:05-11:25	ショナ社会における神聖王としての霊媒師	松平 勇二	日本学術振興会
7	11:30-11:50	古代エジプトの祭礼暦の復元	深谷 雅嗣	放送大
8	11:55-12:15	コプト・ディアスポラにおけるユースグループの役割	岩崎 真紀	筑波大
9	12:20-12:40	コンゴとガオーアフリカのキリスト教王国とイスラーム王国	竹沢尚一郎	国立民博

午後

1	14:00-14:20	現象と実在をめぐる議論と島地大等	川元 恵史	龍大
2	14:25-14:45	フェノロサにおける仏教と哲学	長谷川琢哉	大谷大
3	14:50-15:10	真田増丸の実践論	菊川 一道	龍大
4	15:15-15:35	龍温(1800-1885)の活動と近代日本仏教の形成	オリオン・クラウタウ	東北大
5	15:40-16:00	神智学ネットワークと仏教—鈴木ピアリス蔵書から見えるもの—	吉永 進一	舞鶴高専

9月6日(日)

午前

1	9:00-9:20	親鸞における「即是の道理」	東 真行	大谷大
2	9:25-9:45	『無量寿経』四十八願の配列にみる救済の論理	緒方 義英	東九州短大
3	9:50-10:10	東西本願寺への勅額下賜を問う	御手洗隆明	真宗大谷派教学研究所
4	10:15-10:35	平安後期浄土教の逆謗観	永原 智行	
5	10:40-11:00	専修念仏批判への応答—親鸞の『弁正論』引用の一側面—	藤原 智	親鸞仏教センター
6	11:05-11:25	浄土教による仏堂空間組成と和様	神居 文彰	佛教大
7	11:30-11:50	『歎異抄』における対話表現	林 智康	龍大
8	11:55-12:15	帰依仏に至る過程—律蔵の叙述を中心に—	龍口 明生	龍大

午後

1	13:15-13:35	チャンドラキールティとシャーントティデーヴァの二諦説	梶原 亮大	立正大
2	13:40-14:00	近代日本に将来されたチベット語訳『八千頌般若』について	庄司 史生	立正大
3	14:05-14:25	「モークシャダルマ篇」第326章におけるヴェーハ説	三澤 祐嗣	東洋大
4	14:30-14:50	ディグナーガとバルトリハリの時間論比較研究	那須 円照	龍大
5	14:55-15:15	ジャイナ教の六生類について	杉岡 信行	近大
6	15:20-15:40	アティシャとパーラ王	望月 海慧	身延山大

第7部会

AE351

仏教

9月5日(土)

午前

1	9:00-9:20	近代部落史における真宗信仰の一断面—三浦参玄洞を中心に—	青山 智耶	龍大
2	9:25-9:45	浄土三部経の撰定をめぐって	川野 寛	浄土真宗本願寺派宗学院
3	9:50-10:10	親鸞における造形美術の意味	安藤 章仁	龍大
4	10:15-10:35	戦時下仏教思想史研究の一断面—家永三郎の親鸞論—	近藤俊太郎	龍大
5	10:40-11:00	近代における真宗と女性—城端別院善徳寺と門信徒の関わりから—	本林 靖久	大谷大
6	11:05-11:25	人権思想と僧侶・寺院・教団の位相論—曹洞宗の近現代—	工藤 英勝	曹洞宗宗務庁
7	11:30-11:50	親鸞における社会観—『教行信証』「信巻」を中心として—	頼尊 恒信	和歌山赤十字看護学校
8	11:55-12:15	真宗門徒の信仰生活とスピリチュアリティ	藤 能成	龍大

午後

1	14:00-14:20	円珍『法華論記』における四種声聞授記の解釈について	浅野 学	立正大
2	14:25-14:45	『華嚴五教章』に於ける行位論	佐藤 海音	立正大
3	14:50-15:10	吉蔵の經典観—天台との比較を通じて—	林 瑞蘭	立正大
4	15:15-15:35	中世の白毫寺における経供養儀礼について	船田 淳一	金城学院大
5	15:40-16:00	仏伝受容の物語論的視座からの一考察—漢訳仏伝を素材として—	采翠 晃	大谷大

9月6日(日)

午前

1	10:15-10:35	玄智『考信録』の一考察—追善回向について—	掬月 即勝	龍大
2	10:40-11:00	法燈国師と後鳥羽院	龍口 恭子	中村元東方研究所
3	11:05-11:25	心地覚心・信仰の多様性—神祇との関わりを中心に—	常盤井 慈裕	中村元東方研究所
4	11:30-11:50	徂徠学派による仏典漢訳の修辞学的批判の精神	森 和也	中村元東方研究所
5	11:55-12:15	見佛と見神—道元『正法眼蔵見佛』から—	土田 友章	早大

午後

パネル	新発見大須文庫資料による日本中世禅宗史の転換	代表者：末木文美士
13:15-15:15	栄西と密教—新発見著作を中心として—	米田真理子 神戸学院大
	禅と密教・神道—聖一派の新発見資料から—	伊藤 聡 茨城大
	もう一つの禅宗—達磨宗の新発見資料—	和田有希子 早大
	禅と諸宗融合—新発見資料とその周辺—	高柳さつき 中村元東方研究所
		コメンテータ・司会：末木文美士 国際日文研

9月5日(土)

午前

1	9:00-9:20	明治期における日蓮著『立正安国論』注釈をめぐって	矢吹 康英	立正大
2	9:25-9:45	日蓮における名字即・観行即	中村 宣悠	立正大
3	9:50-10:10	北原白秋と法華信仰	長倉 信祐	日蓮正宗教学研鑽所
4	10:15-10:35	近世加賀藩における大石寺信仰の展開	横山 雄玉	佛教大
5	10:40-11:00	日隆教学にみる一仏二名について	米澤晋之助	立正大
6	11:05-11:25	日蓮聖人における富木尼教化の一側面	奥野 本勇	立正大
7	11:30-11:50	日蓮聖人遺文刊行史に関する一考察	木村 中一	身延山大
8	11:55-12:15	千箇寺詣の信仰習俗に関する新資料	望月 真澄	身延山大
9	12:20-12:40	「近現代の法華運動と在家教団」から見える日蓮教学の可能性	笠井 正弘	

午後

パネル	日蓮研究の現状と課題	代表者:	小林 正博	
14:00-15:40	日蓮文書のデジタル化—日蓮諸教団共有の聖典づくりのために—		小林 正博	東洋哲学研究所
	日蓮の「三大秘法」思想について		前川 健一	東洋哲学研究所
	日蓮正宗教学の特質—正信会と創価学会の新教学創作の試み—		花野 充道	法華仏教研究会
	学問的研究と教団の教義—創価学会の場合—		宮田 幸一	創価大
		司会:	前川 健一	東洋哲学研究所

9月6日(日)

午前

1	9:00-9:20	流行神の靈験と寺院	阿部 友紀	東北大
2	9:25-9:45	近世における禅宗行法書の出版について—施餓鬼・懺法を中心に—	徳野 崇行	駒大
3	9:50-10:10	円通の須弥山世界	清水 浩子	大正大
4	10:15-10:35	吉谷覺寿における学問と宗教	鈴木 朋子	お茶の水女子大
5	10:40-11:00	日本近世における不殺生思想の展開—『三教放生辨惑』について—	西村 玲	中村元東方研究所
6	11:05-11:25	仏教研究の国際的ネットワーク—J.B.プラットの資料紹介—	ユリア・プレニナ	同朋大
7	11:30-11:50	ハワイで活躍した107名の僧侶たち	富田 信隆	駒大
8	11:55-12:15	排仏から求法へ—歴史的批判主義と「仏教史」—	岡田 正彦	天理大

午後

パネル	東アジア仏教と『法華経』	代表者:	菅野 博史	
13:15-15:15	中国における『法華経』の思想の受容		菅野 博史	創価大
	吉蔵の法華経観		奥野 光賢	駒大
	韓国における『法華経』研究史		金 炳坤	身延山大
	日本仏教における『法華経』の思想		養輪 顕量	東大
		コメンテータ:	斎藤 明	東大
		司会:	菅野 博史	創価大

9月5日(土)

午前

1	9:25-9:45	保養プログラムと教団の社会活動—参加者への調査を事例に—	魚尾 和瑛	大正大
2	9:50-10:10	本願寺派の仮設住宅居室訪問活動からみた対人支援の方法論	安部 智海	浄土真宗本願寺派総合研究所
3	10:15-10:35	福島市で円空仏展を催す意味と参観者の意識分析	大下 大圓	高野山大
4	10:40-11:00	現代に於ける怪異の表象について	古山 美佳	國學院大
5	11:05-11:25	信仰者の語る被災地の霊的体験—東京近辺の仏教者の事例から—	小川 有閑	大正大
6	11:30-11:50	信仰者の語る被災地の霊的体験—東京近辺の諸教団の事例から—	堀江 宗正	東大
7	11:55-12:15	コミュニティ復興の課題と神社—宮城県気仙沼市の事例から—	黒崎 浩行	國學院大

午後

パネル	震災と記憶—声にならない声を聴く—	代表者：	高橋 原
14:00-16:00	被災地における死者の記憶		鈴木 岩弓 東北大
	死者の記憶と向き合う人々と宗教者の対応について		高橋 原 東北大
	いわゆる「傾聴」という行為が形づくるもの		金沢 豊 浄土真宗本願寺派総合研究所
	記憶される死者の系譜—葬祭形態の過去と現在—		佐藤 弘夫 東北大
		コメンテーター：	磯前 順一 国際日文研
		司会：	高橋 原 東北大

9月6日(日)

午前

1	9:25-9:45	樹木葬申込者における自然観あるいは死生観	内田 安紀	筑波大
2	9:50-10:10	戦後札幌市における墓地移転と「開拓の祖」顕彰	問芝 志保	筑波大
3	10:15-10:35	現代における新しい葬送のあり方—GLAの事例から—	大菅 俊幸	曹洞宗総合研究センター
4	10:40-11:00	変わりゆく遺影の意義とデザイン—絵画、写真、デジタル—	瓜生 大輔	慶大
5	11:05-11:25	死者を「ほとけ」と呼ぶことについて	清水 邦彦	金沢大
6	11:30-11:50	埋葬をめぐる論争—近代日本におけるいくつかの事例から—	土居 浩	ものづくり大
7	11:55-12:15	沖縄墓地行政の転換と地域的偏差の拡大	村上 興匡	大正大

午後

1	13:15-13:35	災害復興と宗教—台湾・八八水害復興における宗教と原住民—	山西 弘朗	東京外国語大
2	13:40-14:00	近世日本の災害見聞記から読む災害除けの呪いと終末観	朴 炳道	東大
3	14:05-14:25	ホームレス支援と宗教者—信仰は社会活動の支えとなるか—	高瀬 顕功	大正大
4	14:30-14:50	浄土真宗とビハラー活動に関する—考察	桑原 昭信	浄土真宗本願寺派宗学院
5	14:55-15:15	被災寺院のソーシャル・キャピタル—阪神淡路大震災の20年後—	那須 公昭	浄土真宗本願寺派総合研究所
6	15:20-15:40	トルコ・ポスト震災社会の遺体処理—集団埋葬を中心に—	佐島 隆	大阪国際大

9月5日(土)

午前

1	9:00-9:20	平安貴族社会における陰陽道と災禍	馬場真理子	東大
2	9:25-9:45	人神祭祀をめぐる近世学者の立論	松永 優子	東大
3	9:50-10:10	近世名古屋における祭礼と神学	鈴木 一彦	名大
4	10:15-10:35	富士講の紋とその諸相	大谷 正幸	
5	10:40-11:00	神秘哲学としての山崎闇斎「天人唯一」思想の可能性を探る	久保 隆司	國學院大
6	11:05-11:25	近世古い本の組み立て—『三世相小鏡』の分析—	小池 淳一	国立歴史民俗
7	11:30-11:50	山岳地帯の再興—信仰と生活の場として—	野村 誠	共愛学園前橋国際大
8	11:55-12:15	白山—馬場考—	小林 一葵	
9	12:20-12:40	蔵王権現と蛇王権現—四国霊場71番札所弥谷寺をめぐる—	白川 琢磨	福岡大

午後

1	14:00-14:20	世紀転換期における神道解釈の展開—神道私見論争を手がかりに—	原田 雄斗	一橋大
2	14:25-14:45	明治中期の新暦の浸透状況—「明治22年両暦使用取調書」から—	下村 育世	東洋大
3	14:50-15:10	神宮神御衣祭における伝統と信仰	竹内 雅之	
4	15:15-15:35	大西郷の悟りへの道—敬天愛人とキリスト教—	坂本 進	マリア山荘霊性センター
5	15:40-16:00	明治期の近代化と雅楽の宗教性	小野 真	相愛大

9月6日(日)

午前

1	9:00-9:20	前期水戸学における神器論争	齋藤 公太	東大
2	9:25-9:45	笈克彦の初期の思想について	西田 彰一	総合研究大学院大
3	9:50-10:10	笈克彦の溥儀皇帝への御進講—稀観本『惟神大道』に見る神道論—	中道 豪一	広島商船高専
4	10:15-10:35	宗教団体法と金光教	藤井 麻央	國學院大
5	10:40-11:00	日本における宗教教誨と世俗化	アダム・ライオンズ	ハーバード大
6	11:05-11:25	1920年代、植民地朝鮮の宗教についての—考察	朴 海仙	立命館大
7	11:30-11:50	どこが宗教を所管するのか—宗教学校をめぐる文部省と内務省—	江島 尚俊	田園調布学園大
8	11:55-12:15	旧外地法と宗教制度	大澤 広嗣	文化庁

午後

パネル	東洋の宗教思想と井筒俊彦の哲学的思惟	代表者：鎌田 繁	
13:15-15:15	西洋における metapsychisches Wesen の探究と記憶術	河東 仁	立教大
	井筒俊彦と道家思想—郭店楚簡『老子』『太一生水』から考える—	池澤 優	東大
	井筒俊彦における禪解釈とその枠組み	金子 奈央	中村元東方研究所
	井筒俊彦の仏教思想理解の特質	下田 正弘	東大
		司会：鎌田 繁	東大

第11部会

AE555

新宗教・その他

9月5日(土)

午前

1	9:25-9:45	スピリチュアル・エコロジーの自然観—自然農法運動を中心に—	黒田純一郎	東大
2	9:50-10:10	モノと女性のスピリチュアリティ—「布ナプキン」の事例から—	橋迫 瑞穂	立教大
3	10:15-10:35	1920~30年代日本の「精神療法」と「メタフィジカル宗教」	平野 直子	早大
4	10:40-11:00	再考する宗教者像	日高 悠登	阪大
5	11:05-11:25	夭折者と遺族の救済—小児往生を中心とする仏教観—	川本 佳苗	日本学術振興会
6	11:30-11:50	看取りの文化考—子どもたちへの影響—	井藤美由紀	佛教大
7	11:55-12:15	日本社会で〈スピリチュアルケア〉を試みる	葛西 賢太	宗教情報センター
8	12:20-12:40	患者日記にみる熊本回春病院の処遇傾向	輪倉 一広	福井県立大

午後

1	14:00-14:20	韓国新宗教の先祖供養(解怨)—統一教を中心に—	古田 富建	帝塚山学院大
2	14:25-14:45	納骨堂における死者との「出会い」—韓国の事例から—	田中 悟	神戸大
3	14:50-15:10	現代韓国の終末期医療—「延命中止」法制化の論点—	瀬上 恭子	
4	15:15-15:35	日本におけるコリアン・ディアスポラと宗教	田島 忠篤	天使大

9月6日(日)

午前

パネル	SGIの欧米における受容とその発展	代表者：秋庭 裕
9:50-11:30	SGI-USAの55年—“Phase II”再考—	秋庭 裕 大阪府立大
	ヨーロッパにおけるSGI—リーダーシップと現地での受容—	川端 亮 阪大
	世俗社会におけるSGI—イギリスを事例として—	稲場 圭信 阪大
	創価学会運動と海外への展開—その理念と歴史的変遷の考察—	中野 毅 創価大
		司会：秋庭 裕 大阪府立大

午後

パネル	新宗教論の再検討—後期近代社会における展開を踏まえて—	代表者：大西 克明
13:15-15:15	教団ガバナンスの変遷と変容—信者の高齢化の観点から—	大西 克明 東洋大
	教団ライフサイクル・コース論の検討—教団再生産の観点から—	猪瀬 優理 龍大
	新宗教の教導システムの比較研究—後期近代社会を視野に—	寺田 喜朗 大正大
	運動の発生と展開の現在—〈新新宗教〉論の再検討を通じて—	塚田 穂高 國學院大
		コメンテータ：弓山 達也 大正大
		司会：大西 克明 東洋大

AC531 第12部会

新宗教・その他

9月5日(土)

午前

1	9:00-9:20	「宗教的自叙伝」再考	水内 勇太	同志社大
2	9:25-9:45	地域の信仰集団と如来教	石原 和	立命館大
3	9:50-10:10	現代日本における前世記憶・胎内記憶の研究	谷口 智子	愛知県立大
4	10:15-10:35	真如苑の国際信者—台湾とタイの比較を通して—	リイサ・ベレズキン	國學院大
5	10:40-11:00	外来系新宗教の日本人信徒—モルモン教を事例として—	杉内 寛幸	國學院大
6	11:05-11:25	戦後日本におけるエホバの証人の展開—1970年代半ばまで—	山口 瑞穂	
7	11:30-11:50	五井昌久の信仰における谷口雅春の「影響」	吉田 尚文	國學院大
8	11:55-12:15	天理教原典の公刊と復元	澤井 治郎	天理大
9	12:20-12:40	天理教の海外布教についての—考察—中国へ渡った女性たち—	堀内みどり	天理大

午後

パネル	漢字文化圏における聖書翻訳と信仰の表現	代表者：	長澤 志穂	
14:00-16:00	中国人キリスト者の「訳語論争」への参加	金 香花	京大	
	高橋五郎訳『聖福音書』と明治のカトリック教会	日沖 直子	南山宗教文化研究所	
	日本正教会訳聖書における漢語—中井木菟麻呂の思想と信仰—	長澤 志穂	南山宗教文化研究所	
	朝鮮半島での聖書翻訳再考察—キリスト教受容者の立場を中心に—	洪 伊杓	京大	
		コメンテータ：	岩野 祐介	関西学院大
		司会：	長澤 志穂	南山宗教文化研究所

9月6日(日)

午前

1	9:00-9:20	キリシタン文化の観光資源化—長崎県外海地方を事例として—	池田 拓朗	長崎国際大
2	9:25-9:45	江戸期二十四輩遺跡におけるツーリズムの考察	南條 了瑛	龍大
3	9:50-10:10	文化遺産としての修験道考—世界遺産登録と吉野の10年—	天田 顕徳	筑波大
4	10:15-10:35	現代日本のポピュラーカルチャーにおける死生観	高橋 優子	酪農学園大
5	10:40-11:00	宗教的聖地とアニメ聖地	由谷 裕哉	小松短大
6	11:05-11:25	復旧復興期の震災モニュメント—福島県いわき市の事例から—	小林 惇道	大正大
7	11:30-11:50	現代のマリア観音と戦争死者慰霊	君島 彩子	総合研究大学院大
8	11:55-12:15	戦後における戦跡巡拝と仏跡巡拝の重なりについて	西村 明	東大

午後

パネル	高楠順次郎とその時代—新出資料の紹介を中心に—	代表者：	石上 和敬	
13:15-15:15	高楠順次郎の同時代的評価	春近 敬	武蔵野大	
	高楠順次郎と伊東忠太	河津 優司	武蔵野大	
	高楠順次郎の伝道活動—教育・メディア—	岩田 真美	龍大	
	高楠日記を読み解く—高楠順次郎と本願寺との関係について—	石上 和敬	武蔵野大	
		コメンテータ：	大谷 栄一	佛教大
		司会：	石上 和敬	武蔵野大

第13部会

AC532

宗教と教育／ジェンダー・その他

9月5日(土)

午前

1	9:00-9:20	宗教教育としてのロールモデル考	溪 英俊	龍大
2	9:25-9:45	明治20年代の教育言説と「宗教的情操」—能勢栄を中心に—	齋藤 知明	大正大
3	9:50-10:10	『実業之日本』と修養	森上 優子	文部科学省
4	10:15-10:35	去るから戻る教会学校へ—比日児童から読み取る現実と未来—	アレック・ラメイ	上智大
5	10:40-11:00	教育達成に対する親の宗教の影響—台湾を事例に—	寺沢 重法	北大
6	11:05-11:25	田中治吾平「国体背反の大祓詞」の評価に関する一考察	東郷 茂彦	國學院大
7	11:30-11:50	神道文化を活用した体験的学習(ワークショップ)の可能性と課題	板井 正斉	皇學館大
8	11:55-12:15	国語科の中の神話教育	大澤千恵子	東京学芸大
9	12:20-12:40	宗教系義務教育学校におけるいわゆる道徳と宗教の包含関係	小山 一乗	駒大

午後

1	14:00-14:20	現代中国におけるリユースのエコ・フェミニスト神学研究	張 旋	京大
2	14:25-14:45	ペンテコスタリズムにおけるジェンダー	野口 生也	茨城高専
3	14:50-15:10	キリスト教会におけるハラスメント防止対策の諸問題	三木 メイ	同志社大
4	15:15-15:35	キリシタン書におけるマリアの位相	小野 久志	聖学院大
5	15:40-16:00	カトリック教会の社会福祉事業と女性のエンパワーメント	岡光 信子	中央大

9月6日(日)

午後

パネル	東と西における神—靈魂論と最高存在論—	代表者：安藤 礼二
13:15-14:55	折口信夫の靈魂論	安藤 礼二 多摩美術大
	折口信夫における中世・大嘗祭・花祭	斎藤 英喜 佛教大
	ペッタッツオーニの最高存在論	江川 純一 東大
	エリアーデの宗教学と文学における靈魂観と最高存在者	木村 武史 筑波大
		司会：安藤 礼二 多摩美術大

AC533 第14部会

アジア・その他

9月5日(土)

午前

1	9:25-9:45	アステカ人の供犠について—《大いなる生命体》のシンボリズム—	岩崎 賢	茨城大
2	9:50-10:10	光背の火炎表現について—中国初期石彫仏中心に—	内藤 善之	立正大
3	10:15-10:35	スーチーのノーベル平和賞受賞講演に見る「四諦の社会化と平和」	田崎 國彦	武蔵野大
4	10:40-11:00	「筆仙」とは何か—中国の流行現象に注目して—	黄 緑萍	東北大
5	11:05-11:25	中国布努ヤオ族の銅鼓文化と民族アイデンティティ	覃 建恩	長崎国際大
6	11:30-11:50	ダライ・ラマ14世の思想における富の位置づけについて	辻村 優英	神戸大
7	11:55-12:15	チベットの聖湖・ツォゴンボの表象空間と移動による信仰圏の形成	別所 裕介	広島大

午後

1	14:00-14:20	シンガポールにおける火葬の受容—日本人墓地の役割—	高棹 健太	東北大
2	14:25-14:45	カンボジアにおける仏教の社会参加—寺院の社会活動を中心に—	大坪加奈子	九大
3	14:50-15:10	パールシー・コミュニティの人口減少と高齢化問題	香月 法子	中央大
4	15:15-15:35	ジャカルタ首都圏のインド系移民の宗教実践とヒンドゥー寺院	山下 博司	東北大

9月6日(日)

午前

1	9:00-9:20	Mokṣadharmā-parvan にみる「聖者」の諸々のあり方ないし生きざま	古泉 浩平	京大
2	9:25-9:45	現代インドにおけるISKCON寺院の台所空間とその変容	山岸 伸夫	京大
3	9:50-10:10	インド医学書における治療と宗教の関係	森口 真衣	日本医療大
4	10:15-10:35	生家と婚家の氏族女神の間で生きるヒンドゥー教女性とその関係性	相川 愛美	デリー大
5	10:40-11:00	ヴァラナシのガートにおける信仰	宮崎 智絵	立正大
6	11:05-11:25	祭礼における神—人関係の変容—南インドの寺院司祭を事例に—	飯塚 真弓	高崎経済大
7	11:30-11:50	近代インドのブッダガヤ復興運動—岡倉天心とタゴールの交流—	外川 昌彦	広島大
8	11:55-12:15	インド・ムンバイの売春街に見る宗教要素あるいはその不在	田中 雅一	京大

午後

パネル	アジアにおける聖者信仰の諸相	代表者：井田 克征
13:15-14:55	政治利用される聖者—満州における活仏転生工作—	高本 康子 北大
	インドにおける聖者信仰の形成とチベットへの教誡の伝達	菊谷 竜太 東北大
	聖者が生まれるとき—大衆ヒンドゥー教のサント崇拜—	井田 克征 金沢大
	イスラームにおける聖者—イブン・アラビーの完全人間論から—	澤井 真 日本学術振興会
		司会：井田 克征 金沢大

レジュメの作成と提出の注意

『宗教研究』別冊への掲載は、発表を行い、以下①～③を満たした方に限ります。

- ① 9月6日昼12時30分までに「表紙と本文の紙原稿」を提出し、
- ② 9月11日までに「表紙と本文の電子データ」をEメールで送信し、
- ③ 書式・本文が、規定にそっている方

表紙と本文は、①紙原稿の提出、②メールによる電子データの送信、の両方が必要です。

パネル発表は、代表者が発表者全員分をとりまとめて、提出、送信して下さい。

6日午後の個人発表者も、9月6日昼12時30分までに「表紙と本文の紙原稿」を提出して下さい。

① 紙原稿の提出方法 締切：9月6日 昼12時30分

次頁の「レジュメ表紙」・本文の順に、ホチキスでとめ、部会責任者にお渡し下さい。

以後の提出、変更は認められません。完全原稿を提出して下さい。

② 電子データの提出方法 締切：9月11日（受付開始：8月20日）

送信先：日本宗教学会事務局 ja-religion@mub.biglobe.ne.jp

- ・1頁目 発表題目、発表者名、欧文タイトル、発表者名のローマ字表記 を入力
- ・2頁目 本文 を入力

添付ファイル（ワードまたは一太郎）で送信して下さい。

メールの件名：レジュメ 発表者名 例：レジュメ 鈴木花子

③ 書式・本文 以下をお守り下さい。

【書式】 縦書き 1行40字×40行 用紙：A4横
文字サイズ：10.5ポイント 邦文のフォント：MS明朝（ゴシック・太字の使用は不可）

【本文】 40字×40行以内 総文字数ではありません。

縦書きのため、邦文中の数字は、漢数字を用いる。

常用漢字、現代仮名づかいを用いる。

注記、参考文献は、本文中に括弧で挿入する。

図表等の掲載はできません。

日本語を母語としない方は、必ず、日本語上の精査を受けた上で提出して下さい。

・欧文タイトル

英語の場合は、邦文題目に照らして、ネイティブスピーカーが手を加えることがあります。

英語以外の言語は、発表者が提出したタイトル通りに掲載します。

・パネル発表

日本語以外の発表があった場合は、代表者の責任で、日本語のレジュメを提出して下さい。

「パネルの主旨とまとめ」（40字×40行以内）は、代表者が執筆する。

コメントータは、「コメント」（40字×40行以内）を提出することを原則とする。

「コメント」も、代表者が、日本宗教学会事務局に送信して下さい。

紙原稿用 レジюме表紙 (すべての項目に記入して下さい)

発表題目	題目の縦書きを記入してください。日本語・英語・ローマ字表記のいずれでも可。縦書き
発表者名	縦書き
欧文タイトル	邦文題目に副題がない場合、サブタイトルを付けることは不可 手書きする場合、イタリックは下線で指示して下さい。
発表者名のローマ字表記	例：鈴木花子 → SUZUKI Hanako
電子データの提出について	以下に○をつけて下さい。
	<ul style="list-style-type: none"> 1 送信済み 2 9月11日までに送信

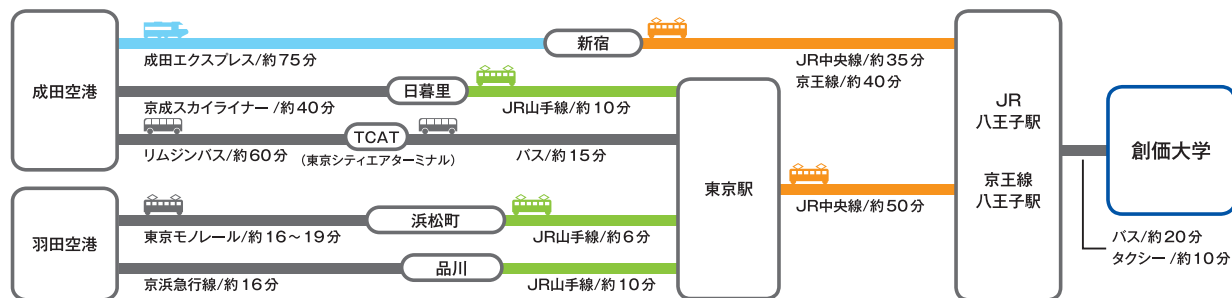
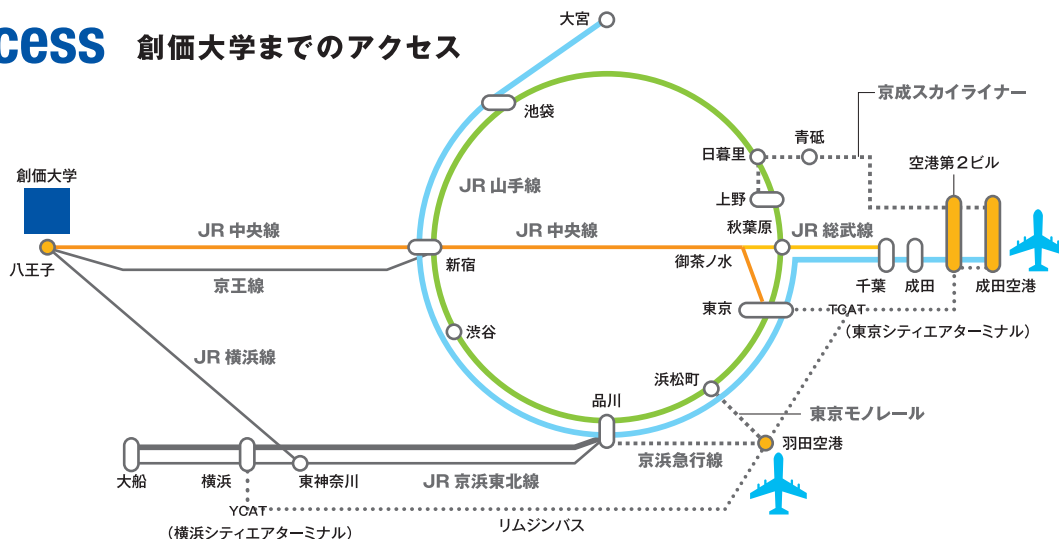
※ 「紙原稿用 レジюме表紙」は、大会ホームページからダウンロードできます。

※ 特殊文字は、プリントアウトしたものに、赤字を入れて下さい。

キ
リ
ト
リ

創価大学へのアクセス①空港・主要駅から

Access 創価大学までのアクセス



創価大学住所：〒192-8577

東京都八王子市丹木町1-236

電話番号：042-691-2211（代表）

創価大学は、JR八王子駅から北へ4km、バスで約20分のところにあります。

八王子駅へは新宿からJR中央線、あるいは京王線（私鉄）で約40分、東海道新幹線の新横浜駅からJR横浜線で約45分です。

また東海道新幹線の新横浜駅からJR横浜線で約45分です。なお、自家用車でのご来場はご遠慮願います。

創価大学へのアクセス②駅からバスをご利用になる場合



JR八王子駅北口・京王八王子駅から西東京バスをご利用下さい。料金は片道310円です。

1. 創価大学正門東京富士美術館行き

(ひよどり山トンネル経由、八日町経由、直通便)

創価大学では正門バス停のみ停車。直通バスはJR八王子駅始発です。

2. 創価大学循環

ひよどり山トンネル経由、八日町経由

創価大学では、正門、創大門、栄光門の各バス停に停車

3. 創価大学栄光門行き (直通)

朝 2 便のみ運行。創価大学では栄光門バス停のみ停車。JR八王子駅始発です。

※ 9月4日(金)・9月5日(土)：始発から12:30までは14番乗り場、それ以降は12番乗り場。9月6日(日)：終日12番乗り場。

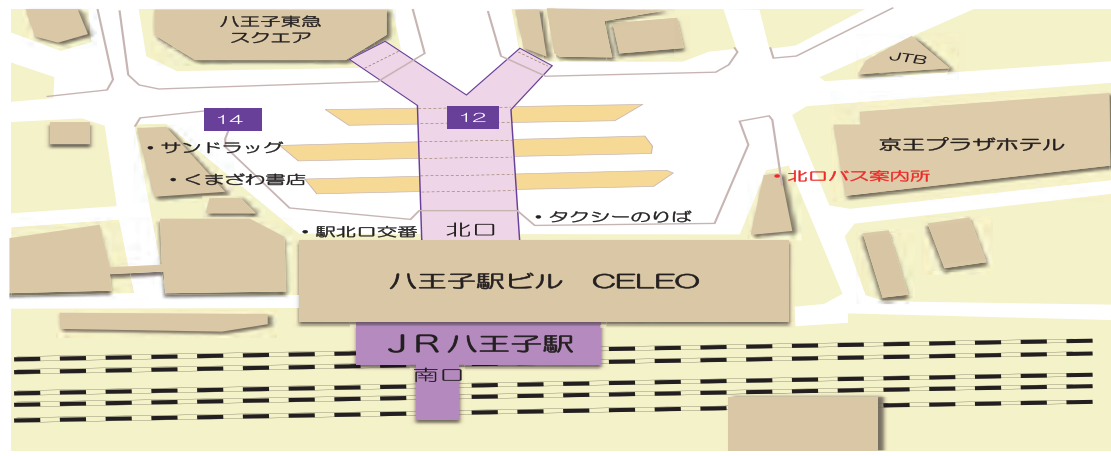
主なバス時刻表 JR八王子駅→創価大学

JR八王子駅北口		ひ02 ひ04	
時	平日(14番のりば)	土曜(14番のりば)	日曜・祝日(14番のりば)
6	51		
7	25		
8	00 直16 ※22 28 直32 ※35 直38 50	03 20 ※32 35 55	03 20 35 55
9	09 直25 33 ※42 52	※02 15 直30 35 55	15 35 55
10	直03 09 ※14 直18 25 ☆35 ☆55	13 ☆33 ☆53	13 ☆33 ☆53
11	☆09 ☆22 ☆39 ☆52	☆13 ☆33 ☆53	☆13 ☆33 ☆53
12	☆09 ☆22	☆13 直22	☆13 ☆33
時	平日(12番のりば)	土曜(12番のりば)	日曜・祝日(14番のりば)
12	☆31 ☆39 ☆52	☆33 ☆53	☆53
13	☆09 ☆22 ☆39 ☆52	☆13 ☆33 ☆53	☆13 ☆33 ☆53
14	☆09 ☆22 ☆39 ☆52	☆13 ☆33 ☆53	☆13 ☆33 ☆53
15	☆09 ☆22 ☆39 ☆54	☆13 ☆33 ☆53	☆13 ☆33 ☆53
16	☆14 ☆22 39 ☆48 55	☆03 ☆20 ☆35 ☆55	☆03 ☆20 ☆35 ☆55
17	☆02 ☆20 ☆25 ☆32 39 ☆55	☆20 ☆35 ☆55	☆20 ☆35 ☆55
18	☆02 ☆22 35 ☆47 ☆55	☆20 ☆35 ☆55	☆20 ☆35 ☆55
19	22 35 ☆55	☆20 ☆35 ☆55	☆20 ☆35 ☆55
20	22 39 ☆55	☆20 ☆55	☆20 ☆55
21			

☆：ひよどり山トンネル経由 東京富士美術館行 ひ02、循環ひ04
 ※：急行 創価大学正門までは途中バス停に停車致しません 八王子駅北口-〔急行〕創価大学栄光門
 直：直通 途中バス停は停車致しません 八王子駅北口-富士美術館〔直通〕
 2015年07月12日 現在

JR八王子駅北口		16号06	
時	平日(14番のりば)	土曜(14番のりば)	日曜・祝日(14番のりば)
6	12 31 42	37	37
7	00 12 37 48	00 08 25 40 50	02 10 27 42 52
8	06 12 24 30 42 57	07 12 27 42 57	07 12 27 42 57
9	12 27 42 57	04 27 42 57	04 27 42 57
10	06 12 27 44 57	17 27 57	17 27 57
11	12 27 42 57	17 27 57	17 27 57
12	12 27	17 27	17 27
時	平日(12番のりば)	土曜(12番のりば)	日曜・祝日(14番のりば)
12	42 57	57	57
13	12 27 42 57	17 27 57	17 27 57
14	12 27 42 57	17 27 57	17 27 57
15	12 27 42 57	17 27 57	17 27 57
16	12 27 42 57	12 27 42 57	12 27 42 57
17	12 27 42 57	12 27 42 57	12 27 42 57
18	07 27 37 57	07 27 42 57	07 27 42 57
19	07 27 37 57	12 27 42 57	12 27 42 57
20	07 27 37 57	12 27 42 57	12 27 42 57
21	07 27 37 47	07 20 42	07 20 42
22	02 20	13	13
23			

16号06<八日町経由>〔西東京〕創価大学前
 2015年07月12日 現在



※時刻表は7月8日現在のものです。
 当日、実際のものをご確認ください。
 西東京バス時刻表検索サイト
 スマートフォン・携帯電話から時刻表を確認できます



バス時刻表 京王八王子駅→創価大学

京王八王子駅		ひ02 ひ04	
時	平日	土曜	日曜・祝日
6	49		
7	23 58		
8	26 48	01 18 33 53	01 18 33 53
9	07 31 50	13 33 53	13 33 53
10	07 23 ☆33 ☆53	11 ☆31 ☆51	11 ☆31 ☆51
11	☆07 ☆20 ☆37 ☆50	☆11 ☆31 ☆51	☆11 ☆31 ☆51
12	☆07 ☆29 ☆37 ☆50	☆11 ☆31 ☆51	☆11 ☆31 ☆51
13	☆07 ☆20 ☆37 ☆50	☆11 ☆31 ☆51	☆11 ☆31 ☆51
14	☆07 ☆20 ☆37 ☆50	☆11 ☆31 ☆51	☆11 ☆31 ☆51
15	☆07 ☆20 ☆37 ☆50	☆11 ☆31 ☆51	☆11 ☆31 ☆51
16	12 ☆20 37 ☆46 ☆53	☆01 ☆18 ☆33 ☆53	☆01 ☆18 ☆33 ☆53
17	☆00 ☆18 ☆23 ☆30 37 ☆53	☆18 ☆33 ☆53	☆18 ☆33 ☆53
18	☆00 ☆20 33 ☆45 ☆53	☆18 ☆33 ☆53	☆18 ☆33 ☆53
19	20 33 ☆53	☆18 ☆33 ☆53	☆18 ☆33 ☆53
20	20 37 ☆53	☆18 ☆53	☆18 ☆53
21			

☆：ひよどり山トンネル経由 東京富士美術館行 ひ02 ひ04

2015年07月12日 現在

京王八王子駅		16号06	
時	平日	土曜	日曜・祝日
6	10 29 40 58	35	35
7	10 35 46	00 08 25 40 50	00 08 25 40 50
8	04 10 22 28 40 55	05 10 25 40 55	05 10 25 40 55
9	10 25 40 55	02 25 40 55	02 25 40 55
10	04 10 25 42 55	15 25 55	15 25 55
11	10 25 40 55	15 25 55	15 25 55
12	10 25 40 55	15 25 55	15 25 55
13	10 25 40 55	15 25 55	15 25 55
14	10 25 40 55	15 25 55	15 25 55
15	10 25 40 55	15 25 55	15 25 55
16	10 25 40 55	10 25 40 55	10 25 40 55
17	10 25 40 55	10 25 40 55	10 25 40 55
18	05 25 35 55	05 25 40 55	05 25 40 55
19	05 25 35 55	10 25 40 55	10 25 40 55
20	05 25 35 55	10 25 40 55	10 25 40 55
21	05 25 35 45	05 18 40	05 18 40
22	00 18	11	11
23			

16号06<八日町経由>[西東京]創価大学循環

2015年07月12日 現在

バス時刻表(帰路) 創価大学→JR・京王八王子駅

創価大正門・東京富士美術館前発		ひよどり経由、16号経由	
時	平日	土曜	日曜・祝日
9	ひ07 ひ47 ひ55		
10	ひ37	ひ40	ひ40
11	ひ00 ひ20 ひ32 ひ47	ひ00 八10 ひ20 ひ40	ひ00 八10 ひ20 ひ40
12	ひ02 ひ17 ひ32 ひ47	ひ00 八10 ひ20 ひ40	ひ00 八10 ひ20 ひ40
13	ひ02 ひ17 ひ32 ひ47	ひ00 八10 ひ20 ひ40	ひ00 八10 ひ20 ひ40
14	ひ02 ひ17 ひ32 ひ47	ひ00 八10 ひ20 ひ40	ひ00 八10 ひ20 ひ40
15	ひ02 ひ17 ひ32 ひ47	ひ00 八10 ひ20 ひ40	ひ00 八10 ひ20 ひ40
16	ひ02 八11 ひ17 ひ33 ひ45 ひ49	ひ00 八10 ひ20 ひ40	ひ00 八10 ひ20 ひ40
17	ひ12 八17 ひ27 ひ40 直47 八50	ひ00 八05 ひ20 ひ40	ひ00 八05 ひ20 ひ40
18	直00 ひ10 八15 ひ22 直32 八40 ひ50	ひ00 八05 ひ20 ひ40	ひ00 八05 ひ20 ひ40
19	八10 ひ22 八40 ひ58	ひ00 八05 ひ20 ひ40	ひ00 八05 ひ20 ひ40
20	八10 ひ22 ひ30 八40 ひ50 ひ55	ひ00 八05 ひ20 八30 八40 ひ50	ひ00 八05 ひ20 八30 八40 ひ50
21	ひ05 八10 ひ20 八28	ひ05 八10 ひ20 八42	ひ05 八10 ひ20 八42
22	八51		

創価大学栄光門発		ひよどり経由、16号経由	
時	平日	土曜	日曜・祝日
9	八00 八12 ひ13 八27 ひ32 八42 ひ56 八57	八10 ひ18 八25 八32 ひ38 八55 ひ58	八10 ひ18 八25 八32 ひ38 八55 ひ59
10	八12 ひ15 八27 ひ32 八34 八40 ひ48 八55	八10 ひ18 八25 ひ36 八45 八55	八10 ひ18 八25 ひ36 八45 八56
11	八12 八25 八40 八55	八25 八45 八55	八25 八45 八55
12	八12 八25 八40 八55	八25 八45 八55	八25 八45 八55
13	八12 八25 八40 八55	八25 八45 八55	八25 八45 八55
14	八12 八25 八40 八55	八25 八45 八55	八25 八45 八55
15	八12 八25 八40 八55	八25 八45 八55	八25 八45 八55
16	八10 八25 ひ37 八42 八57	八25 八40 八55	八25 八40 八55
17	ひ02 八12 八27 八42 八57	八10 八25 八40 八55	八10 八25 八40 八55
18	ひ02 八12 八27 八37 八57 ひ58	八10 八25 八35 八55	八10 八25 八35 八55
19	八05 八25 八35 ひ45 八55 ひ58	八10 八25 八40 八55	八10 八25 八40 八55
20	八05 八25 八35 ひ45 八55	八10 八25 八39 八54	八10 八25 八39 八54
21	ひ02 八05 八25 八35 八54	八09 八24 八34 八47	八09 八24 八34 八47
22	八04 八14 八29 八47	八09 八40	八09 八40

ひ：ひよどり山トンネル経由 ひ02 八：八日町経由 16号線 直：直通。

2015年07月12日 現在

キャンパスマップ

キャンパスマップ

2015年4月 現在



創価大学
SOKA UNIVERSITY

黄色にぬってある道は坂道です。

- AED 学内設置場所
- 食堂・売店
- 学生専用駐車場
- 一般専用駐車場
- 階段
- トイレ
- バリアフリートイレ

キャンパス略図



① 中央教育棟

懇親会以外のすべての行事を行います。

- 1階：受付、書籍販売ブース
- 3階～5階：発表会場
- 3階：総会会場（5日 AW302教室）
- 4階：グランカフェ
（4日・5日・6日 11:00～14:00）
- 地下1階：ディスカバリー・ホール
（公開シンポジウム 4日 AB101）
コンビニ（ローソン）
（4日・5日・6日 10:00～16:00）

② ニューロワール（食堂）

- 4日・5日 11:15～14:00
- 6日 11:30～14:00

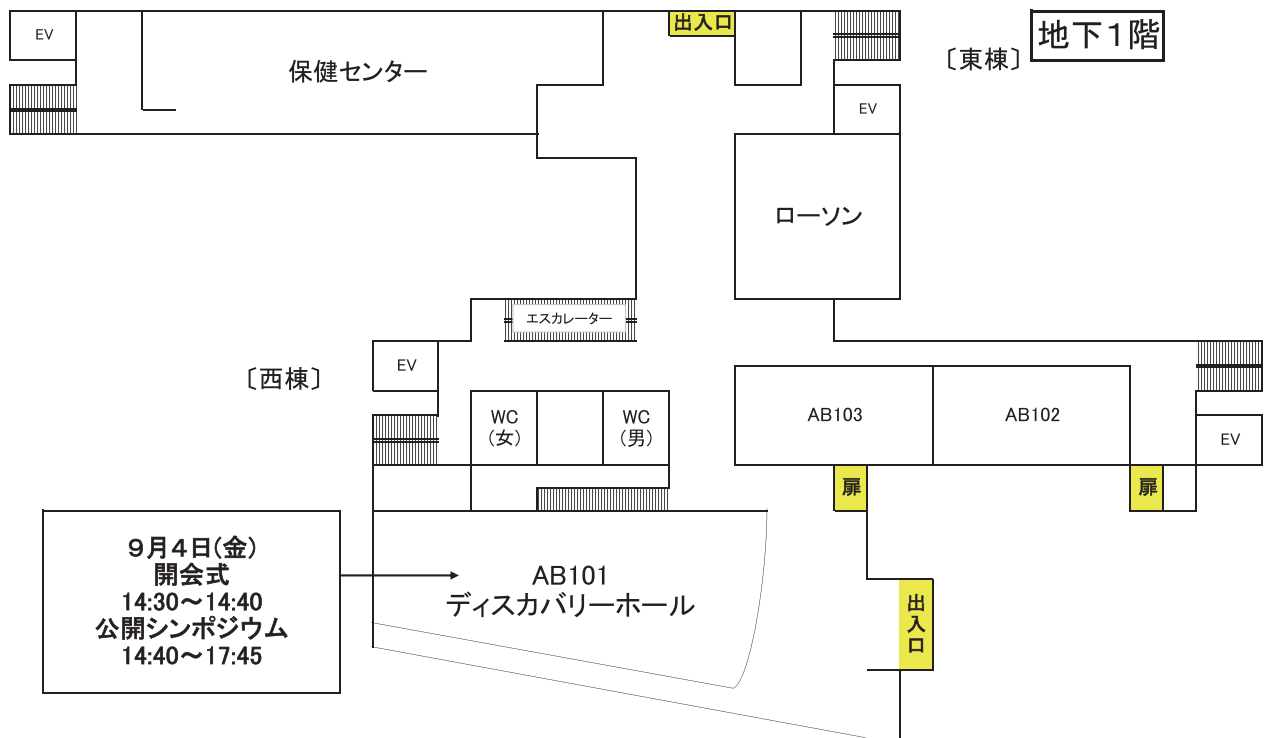
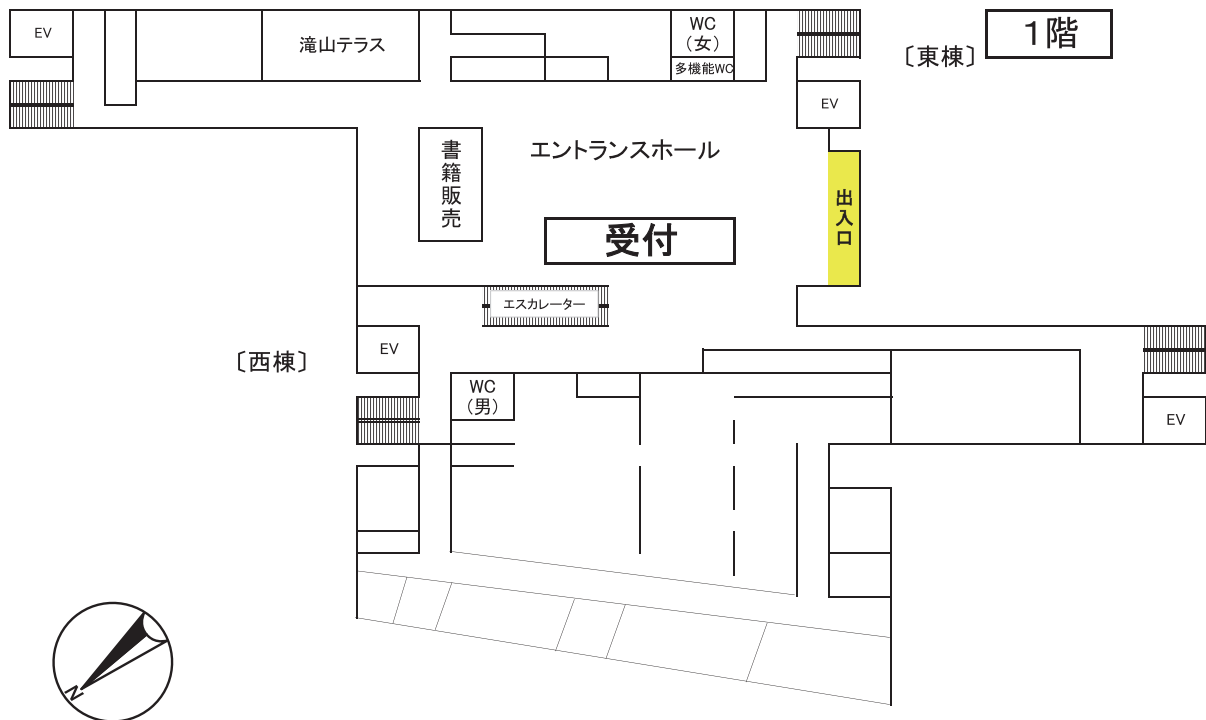
③ 学生ホール

- 1階：売店
（4日・5日・6日 8:30～16:30）
- 2階：サブウェイ（サンドウィッチ）
（4日・5日・6日 10:00～15:00）

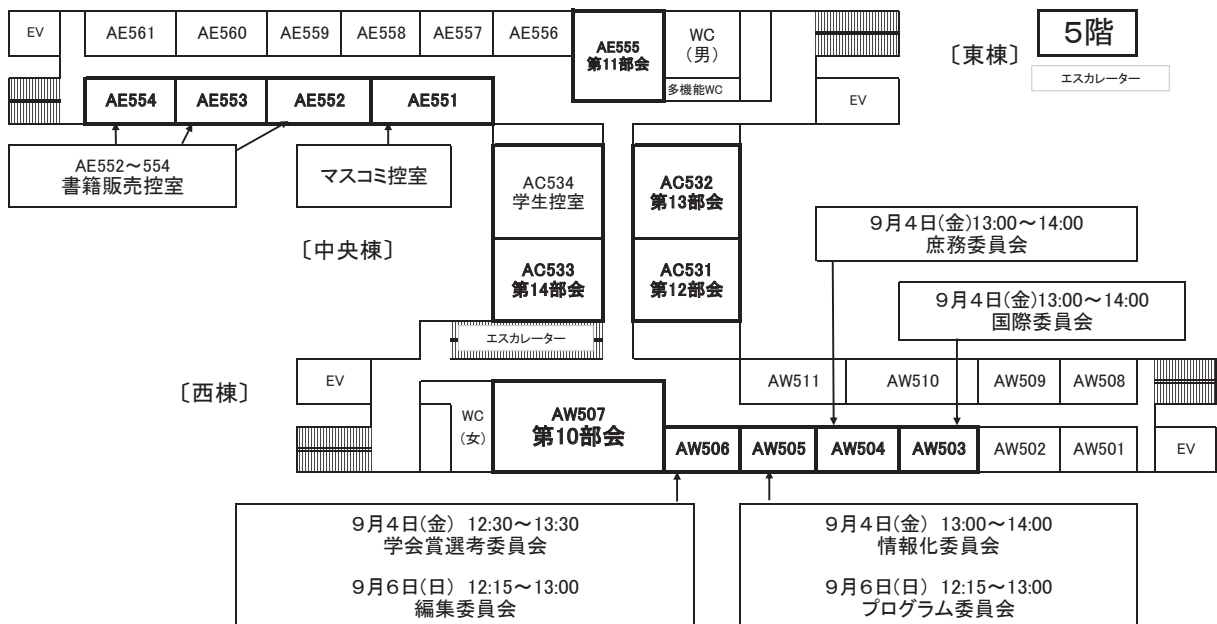
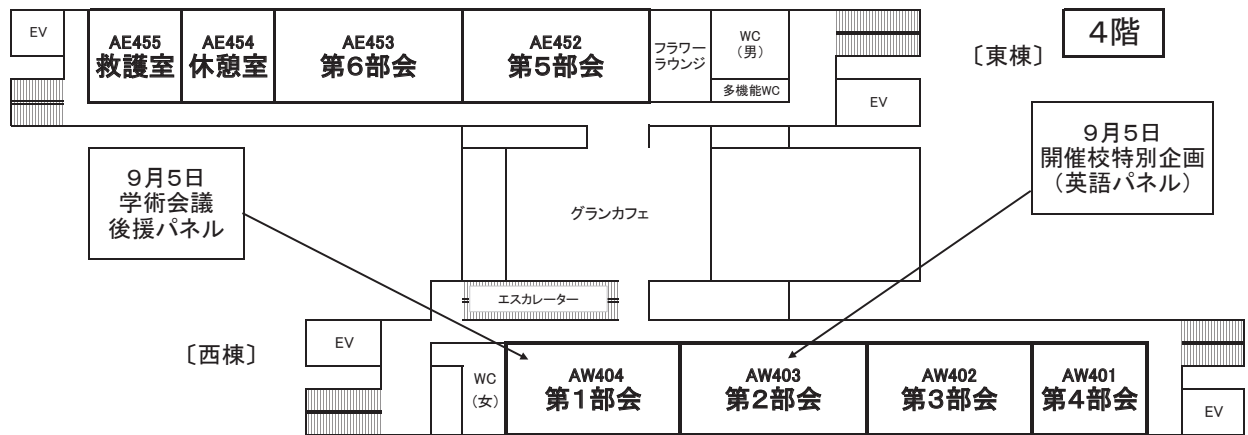
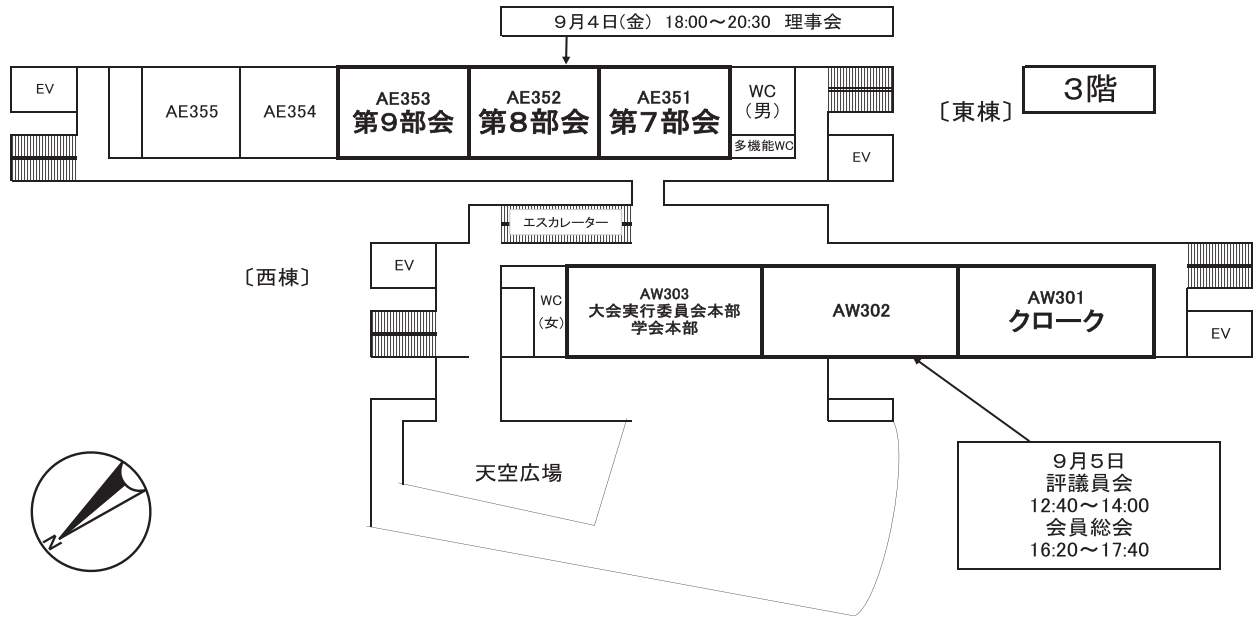
④ ニュープリンス・ホール

- 懇親会場
（5日 18:00～20:00）

中央教育棟 教室配置図 1階・地下1階



中央教育棟 教室配置図 3階～5階



連絡先一覧

創価大学内の連絡先	電話番号	住所
創価大学	042-691-2211 (代表)	東京都八王子市丹木町 1-236
大会本部	jars74th@gmail.com	
保健センター	042-691-9373	
大学正門案内所	042-691-9344	
公益財団法人東洋哲学研究所	042-691-6591	東京都八王子市丹木町 1-236
東京富士美術館	042-691-4511	東京都八王子市谷野町 492-1
八王子市内総合病院	電話番号	住所・ホームページ
八王子山王病院	042-626-1144	東京都八王子市中野山王 2-15-16 http://www.tmg.or.jp/hachioji/
仁和会総合病院	042-644-3711	東京都八王子市明神町 4-8-1 http://www.jinwakai.jp/index.html
東海大学医学部附属八王子病院	042-639-1111	東京都八王子市石川町 1838 http://www.hachioji-hosp.tokai.ac.jp/
清智会記念病院	042-624-5111	東京都 八王子市 子安町 3-24-15 http://www.seichikai.com/
東京医科大学八王子医療センター	042-665-5611	東京都八王子市館町 1163 http://hachioji.tokyo-med.ac.jp/hmc/
右田病院	042-622-5155	東京都八王子市暁町 1-48-18 http://www.migitahosp.or.jp/
救急相談センター	042-521-2323	
東京都保健医療情報センター	03-5272-0303	
八王子消防署	042-625-0119	
託児所	電話番号	住所・ホームページ
バナナキッズ八王子北口	042-789-7227	東京都八王子市東町 8-2 豊泉 2 号ビル 6F http://friesmell-hachioji.com/
スクルド エンジェル保育園	042-646-1803	八王子市子安町 1-14-7 八王子南センタービル 1F http://hachiojiekimae.skuld-angel.com/
八王子市タクシー会社	電話番号	
八王子交通事業株式会社	042-623-5111	
三和交通株式会社	042-622-8181	
飛鳥交通多摩株式会社	042-661-0248	
八南交通株式会社	042-642-3371	
キャピタル交通株式会社	042-691-2222	
交通機関	電話番号	
JR東日本(お問い合わせセンター)	050-2016-1600	
京王電鉄株式会社 京王八王子駅	042-642-0496	
西東京バス(檜原営業所)	042-623-1365	
郵便局	電話番号	
八王子郵便局(集荷・配送)	042-627-9907	
八王子郵便局(窓口業務)	042-626-5718	

日本宗教学会
第74回学術大会実行委員会事務局

〒192-8577 東京都八王子市丹木町1-236

創価大学文学部

E-mail: jars74th@gmail.com

http://jpars.org/annual_conference/

※電話、FAXでの連絡は受け付けておりません。ご諒解下さい。